

## 中学部1学年 生活単元学習 学習指導案

日時 令和4年9月22日(金) 2、3校時  
場所 中学部1年1組教室、2組教室  
授業者 相原 淳(T1) 江島 瑞世(T2)  
播磨屋 梢(T3) 鎌田 育子(T4)  
笠井 久子(T5)

### 1 単元名 LET' S GO! 中1 ～もっと知りたい、追分地区～

### 2 目標

- (1) 疑問に対する予想を立て、調査方法を考えて実行する。 【知・技】 【学】  
(2) 制作活動などを通して、追分地区について調べたことを分かりやすく整理する。 【知・技】 【思・判・表】  
(3) 友達や教師とのやり取りを通して、自分の気持ちや考えを伝えたり、相手を受け入れたりしながら活動する。 【思・判・表】 【学】

### 3 生徒と単元

#### (1) 生徒について

本学習グループは、男子7名、女子3名、計10名の学習グループである。人と関わることを好み、友達や教師と会話を楽しんだり積極的に体を動かして遊んだりする生徒が多い。一方で集団での学習に苦手意識があり、気持ちの不安定さから欠席が多くなる生徒もいる。

コミュニケーション面については、日常会話が成立する生徒から手の動きや発声などで気持ちを表す生徒など実態は様々である。時折、話す相手の状況や気持ちなどを考えずに話し掛けるなど、自己中心的な発言や態度が見られる生徒や相手の気持ちを受け入れたり自分の気持ちに折り合いをつけたりすることが難しい生徒もいる。しかし、これまで様々な学習に取り組む中で、友達と声を掛け合って一緒に活動する姿が増えてきた。

前単元「LET' S GO! 中1～追分オリジナルマップを作ろう～」では、グループの友達と繰り返し街探検に出掛けたことで、歩くペースがゆっくりな友達にペースを合わせたり、疲れている様子が見えたら「休憩しよう」と声を掛けたりするなど、相手を思いやる姿が見られた。また、マップづくりの活動では、声を掛け合って役割分担をしたり、友達の分の道具も準備したりするなど、友達を意識し、協力する姿が増えてきた。

様々な活動に友達と協力して取り組み、やり遂げることで得られる達成感や自己有用感を十分に積み重ねながら、学年としての集団づくりと望ましい人間関係を形成している段階である。

#### (2) 単元について

前単元では、追分地区の街探検を活動の軸とし、「発見」や「疑問」の視点から追分オリジナルマップを作成した。学習を重ねたことで地図の見方が分かるようになり、単元後半の振り返りの場面では、「僕たちが行ったときにはあったけど、看板がなくなっている」、「その不思議な建物はなんだろう、行ってみたい」など、自分のグループと他のグループの共通点や相違点を見付け、「もっと知りたい、調べてみたい」という意見が多く聞かれた。そこで、本単元では、前単元の街探検で見付けた数多くの「疑問」を「公共施設」、「店」、「交通」に分類し、生徒自身が調べたい、解決したい「疑問」を選んで調査し、まとめる学習を行う。生徒の「もっと知りたい、調べてみたい」という気持ちをもとにグループを編成し、学習を組み立てていくことで、同じ目的に向かう仲間意識をもち、学びに向かう意欲を高く保つことができると考える。

調査活動の前に、グループごとに疑問の調べ方やまとめ方、役割分担などについて相談しながら計画を立て

てたり、「疑問」に対する予想を立てたりすることで、目的意識をもって疑問の解決に取り組むことができる  
と考える。「調査活動」では、インターネットで調べたり、地域の方にインタビューをしたり電話で話を聞い  
たりすることで、「なるほど!」、「そうだったんだ!」といった「分かった」という実感を得られるようにし  
たい。「振り返り」では、調査活動で集めた情報や分かったことをグループ内で共有し、表や模造紙などにま  
とめる活動を行う。グループで一つの物を作り上げる場面を設定することで、生徒同士がやりとりする必然  
性もたせることができる。また、単元全体を通して、社会科「公共施設の制度」、国語科「聞くこと・話すこ  
と」、数学科「データの活用」などの内容を盛り込むことができ、グループによって幅広い展開が可能である。

以上のように、一連の学習を通じて、生徒の学びの意欲を十分に引き出しながら、学習を展開していく。  
また、グループまたは学年の仲間と一つのものを作り上げる経験を重ね、友達を意識し、安心できる学習集  
団の基盤を築いていくことができると考え、本単元を設定した。

### (3) 指導について

○本学習グループでは、中学部の目指す姿である「自分で気付き、考えて行動する姿」を、①自分のやるべ  
きことが分かり、見通しをもって取り組む姿。②これまでの経験を生かして工夫したり自分で選んだりす  
る姿。③友達と協力して取り組む姿。とし、それらの踏まえ、以下の通り指導にあたる。

- ・学習に見通しをもち、主体的に学習に取り組めるように、疑問を解決するための調べ方やまとめ方、役  
割分担などについて、生徒たち自身で学習計画を立てる機会を設定する。
- ・目的意識をもって調査活動に出掛けられるように、「疑問」に対する自分なりの予想を立て、グループ内  
で共有してから調査活動に出掛ける。
- ・疑問に対する答え以外の新たな気付きや、視点の広がり、考えの深まりなどがあった場合には、教師が  
称賛したり価値付けしたりする。
- ・調査活動で調べたことを分かりやすく表すために、各グループの実態に合わせて、表やシート、模造紙  
などにまとめる。
- ・友達と協力して活動できるように、生徒同士をつなぐ言葉掛けや支援を行う。
- ・自分の気持ちを言葉で表すことが難しいときには、場面に応じて教師が仲介し、選択肢を示したり生徒  
の発言を整理して伝えたりする。
- ・友達と関わり合いながら活動できるように、生徒同士が言葉でのやりとりや物の受け渡しなどをする場  
面を意図的に設定する。
- ・達成感や自己有用感を感じられるように、教師は生徒の自発的な行動や発言を即時評価する。

4 指導計画（総時数34時間 本時29、30/34）

小単元名 (主な学習活動)	学びの視点			時数	育成を目指す資質・能力
	主	対	深		
<p>&lt;前単元&gt; LET'S GO! 中1 ～追分オリジナルマップを作ろう! 1～</p>	 興味や関心を高める	 共に考えを創り上げる	 知識・技能を習得する	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割が分かり、友達と協力して活動に取り組む。</li> <li>オリジナルマップづくりを通して、身近な地域（追分）の様子が分かり、地域への関心を広げる。</li> <li>友達や教師とのやり取りを通して、自分の気持ちや考えを伝えたり、相手を受け入れたりしながら活動する。</li> </ul>
<p>&lt;本単元&gt; LET'S GO! 中1 ～もっと知りたい、追分地区～オリエンテーション</p>	 興味や関心を高める	 多様な情報を収集する	 知識・技能を活用する	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「公共施設」、「店」、「交通」にグループ分けしたものから、もっと知りたい、調べてみたいものを選ぶ。【思・判・表】【学】</li> </ul>
<p>(1) 「計画」調査活動の計画・予想を立てよう</p>	 見通しをもつ	 思考を表現に置き換える		<p>本時 25、26 /26</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問の調べ方やまとめ方、役割分担などについて相談しながら学習計画を立てる。【知・技】【思・判・表】</li> <li>地図を見ながら目的地までの道のりを決める。【知・技】【思・判・表】</li> <li>「疑問」に対する自分なりの予想を立てる。【思・判・表】</li> <li>インタビューの内容を考えたり、練習したりする。【知・技】【思・判・表】</li> </ul>
<p>(2) 「調査活動」調査に出掛けよう</p>	 自分と結び付ける	 多様な情報を収集する	 知識・技能を習得する   知識・技能を活用する		<ul style="list-style-type: none"> <li>調査に出掛け、地域の方にインタビューをしたり、写真を撮ったりする。【知・技】【思・判・表】【学】</li> </ul>
<p>&lt;本時&gt; (3) 「まとめ」街探検で分かったことをまとめよう</p>	 粘り強く取り組む	 互いの考えを比較する   共に考えを創り上げる	 新たなものを創り上げる   知識や技能を概念化する		<ul style="list-style-type: none"> <li>調査活動で集めた情報や分かったことをグループ内で共有し、表や横造紙などにまとめる。【知・技】【思・判・表】【学】</li> <li>グループでまとめたことを分かりやすく簡潔に報告する。【思・判・表】【学】</li> </ul>
<p>LET'S GO! 中1 ～もっと知りたい、追分地区～学年報告会</p>	 振り返って次へつなげる	 多様な手段で説明する	 自分の思いや考えと結び付ける	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習で取り組んだことを相手に分かるように報告する。【知・技】【思・判・表】【学】</li> </ul>

※ (1) ～ (3) の活動は繰り返す。また、各グループの調べ方やまとめ方の実情に応じて、時間配分が異なる。

## 5 本時の計画

### (1) 全体の目標

- ・グループごとに友達と役割分担をし、調査活動で分かったことについての掲示物を作る。

【知・技】 【思・判・表】 【学】

### (2) 個別の実態と目標

	生徒名	実 態	本時の目標	手立て
公共施設グループ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数の活動であれば、自分の考えを友達に伝えたり、自分から友達と関わろうとしたりすることができる。</li> <li>・校外での活動への不安感が大きく、活動に参加できないことが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く内容や位置を友達に確認しながら、調べて分かったことを丁寧な文字でワークシートに書き写す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付きや考えを引き出せるように、生徒の発言に対して切り返しの質問をする。</li> <li>・欠席した分の学習の流れが分かるように、写真や制作物などを見せながら補足説明をする。</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示を理解して行動するまでに時間が掛かるが、やるべきことに責任をもって丁寧に取り組むことができる。</li> <li>・活動に見通しをもち意欲的に取り組む姿が増え、リーダー的な役割を果たすことに意欲的な姿を見せている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や取材メモを見ながら、分かったことや新たな疑問を友達に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付きを促すために、他の施設との共通点、相違点を聞いたり、タブレット端末を活用して情報を補足したりする。</li> </ul>
	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人数での活動や話し合い活動は苦手だが、慣れた集団の中での分かる、できる活動には少しずつ自分から取り組んだり、発言したりできるようになってきている。</li> <li>・集団の中で発表することや自分の考えを述べたりすることは苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く内容を自分で選択し、時間いっぱい丁寧に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で選択することができるように、教師と一緒に確認したり、選択肢を提示したりする。</li> <li>・欠席した分の学習の流れが分かるように、写真や制作物などを見せながら補足説明をする。</li> </ul>
	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数での活動では自分の考えや思いを友達や先生に伝えることができる。</li> <li>・繰り返し活動することで学習の流れを理解し、自分から活動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこに何を書くかが分かり、丁寧な文字で情報をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べた情報を整理できるように、質問に関する答えを一問一答形式で書いていくワークシートを用意する。</li> <li>・文字の大きさや書く位置を決められるように、掲示物の見本を用意する。</li> </ul>

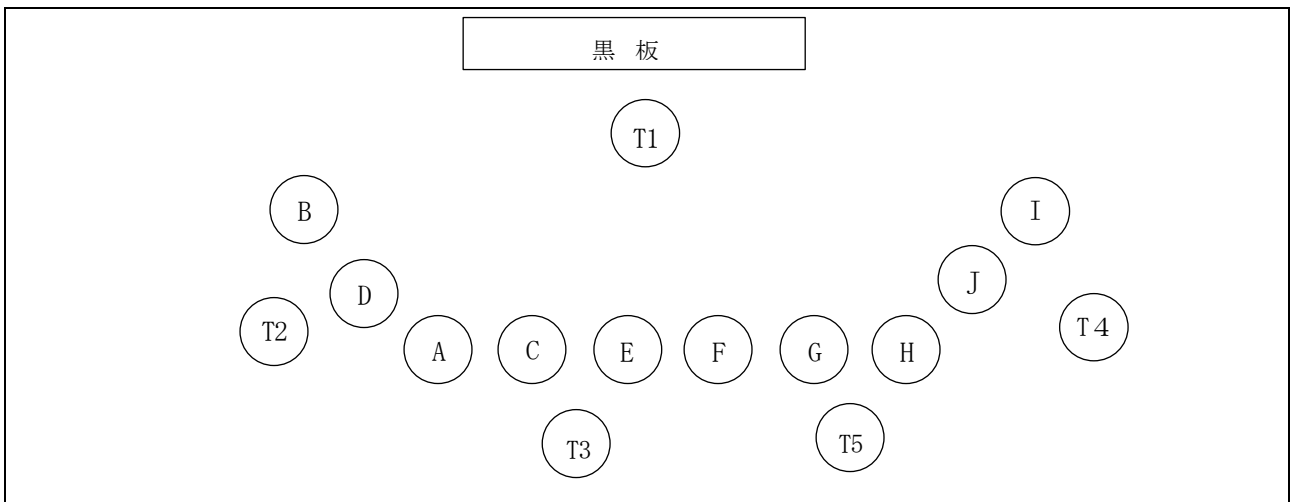
店グループ	E	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで取り組むことを理解し、グループ内で仕事を分担したり、手伝ったりすることができる。</li> <li>疲れがたまったり、自分の思いが通らなかつたりしたときに気持ちのコントロールが難しくなることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のやるべき活動が分かり、調査したことや気付いたことを表やワークシートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動に取り掛かる前に、活動の進め方について、友達や教師と相談する時間を設ける。</li> <li>調査したことをまとめられるように、表やワークシートを準備する。</li> </ul>
	F	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味がない活動や集団の学習で離席したり、話を聞いていなかったりすることが多い。</li> <li>自分のやるべきことが明確なときは、活動に気持ちを向けて取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の活動について分かり、表に自動販売機の写真や掲示用の地図に番号シールを貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の活動が分かるように、活動内容をミニホワイトボードに書く。</li> <li>自動販売機の写真を貼り付ける順番が分かるように、調査活動で撮影したタブレット端末の写真を見せる。</li> </ul>
交通グループ	G	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動が待てないときや、思い通りにならないときには不安定になることもあるが、決まった日課や繰り返しの活動には落ち着いて参加できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達から依頼を受け、写真や疑問などを貼り付けて友達と一緒にシートを制作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いて学習に参加できるように、繰り返しの活動を設定する。</li> <li>貼る場所に迷わず、写真等が貼れるように印を付けておく。</li> </ul>
	H	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体場で発言することにちゅうちょする場面もあるが、小人数の中では質問に対して自分の意見や気持ちを話すことができる。</li> <li>文字を書くことに苦手意識がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べて分かったことを友達に伝えたり、シートに書いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から発言できないときは「何かありますか」と言葉掛けをしたり、自分から発言することができたときは称賛したりする。</li> <li>自信をもって書けるように、手本を提示する。</li> </ul>
	I	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に外で活動することを好み、声を出したり手をたたいたりして気持ちを表す。</li> <li>グループ内の友達が話していることに注目し、簡単な反応を返したり、一緒に写真を見たりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの活動の流れを理解し、友達と一緒にタブレット端末の写真を見たり必要な写真を印刷したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真を確認しながら操作できるように、グループの友達に動かしたり止めたりするタイミングを伝えてもらう機会を設定する。</li> <li>写真を自らできるように、操作しやすい教材を準備したり提示位置への配慮をしたりする。</li> </ul>
	J	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を話したい気持ちが先行したり、活動に前のめりになったりすることが多いが、ルールを決めることで友達と一緒に協力して活動することができるようになってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べて分かったことの要点をまとめて友達に伝えたり、シートに書いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要点をまとめることができるように、事前に話すべき部分や書きたい部分についてラインを引くように伝える。</li> </ul>

(3) 学習過程

時間	学習活動	手立て・指導上の留意点
5	<p>1 本時の学習内容とめあてを知る。</p> <p>めあて：調査活動で調べたことや分かったことを整理して掲示物を作ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習内容とめあてが分かるように黒板に掲示する。</li> </ul>
60	<p>2 グループに分かれて活動する。</p> <p>(1) 個人目標を決める。</p> <p>(2) 役割分担をして掲示物を作る。</p> <div data-bbox="193 949 676 1476" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【公共施設】</b> 取材メモを見ながら調べた情報を共有し、記事を書く分担を決めて模造紙に清書する。</p> <p><b>【店】</b> 調査活動で見つけた店や自動販売機の場所を掲示用に地図に示したり、表を記入したりする。</p> <p><b>【交通】</b> 調査活動で調べたことや分かった情報を共有、整理し、役割分担をしてシートを制作する。</p> </div> <p>(3) 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人目標の振り返りをする</li> <li>・報告の準備をする</li> </ul>	<div data-bbox="707 430 1469 692" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【1-1 教室】</b> 公共施設：A、B、C、D、T2、T1 店：E、F、T3 <b>【1-2 組教室】</b> 交通：G、H、I、J、T4、T5 ※T1 は公共施設グループに所属するが、適宜グループを抜け、全体の様子を把握する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人目標を決めることができるように、グループのめあてを提示し、めあてを達成するためにどんなことを頑張るかなど、生徒の言葉を引き出してめあてを決める。</li> <li>・目標を決めることが難しい生徒は、選択肢を提示したり、前回までのワークシートを参考にしたりするように伝える。</li> <li>・調べてきたことが想起できるように、タブレット端末の画像やメモなどを見せながら一緒に確認する。</li> <li>・考えを広げたり、深めたりすることができるように「なぜ、そう思ったか、他に気付いたことはないか」等の問い掛けをする。</li> <li>・見やすく、分かりやすい掲示物を作ることができるように、写真の位置や貼り方、文字の大きさなどについて問い掛けたり一緒に確認したりする。</li> <li>・生徒が自分のめあてを意識して学習できるように、生徒のがんばりやよさを適宜、認める言葉を掛ける。</li> <li>・振り返りの場面での自己評価の気付きになるように、めあてに沿った行動や発言をホワイトボードや付箋紙にメモをしたり、学習の途中で生徒に伝えたりする。</li> <li>・本時で頑張ったことが具体的に分かるように、一人一人問い掛けをして言葉を引き出したり、ホワイトボードや付箋紙のメモを見せたりする。</li> <li>・分かりやすく簡潔に報告できるように、報告する箇所を確認したり、話すスピードや声の大きさなどのポイントを伝えたりする。</li> </ul>
10	<p>3 グループごとに報告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T1 は各グループの報告内容を簡単に振り返り、分かりやすくまとめられたポイントを取り上げ、称賛する。</li> </ul>
5	<p>4 全体の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T1 は、各グループの取り組みの様子や、個人のめあてに対する評価について、全体に紹介する。</li> </ul>
<p><b>【評価】</b> 自分の役割が分かり、友達と一緒に掲示物を作ることができたか。</p>		

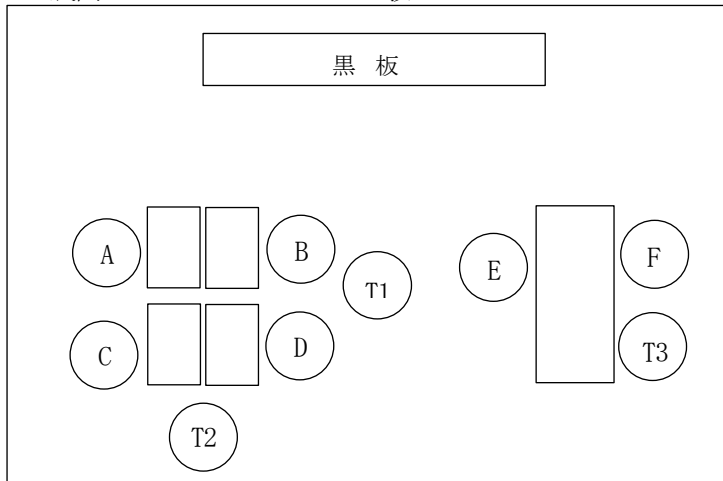
(4) 配置図、座席表

・導入 1-1教室

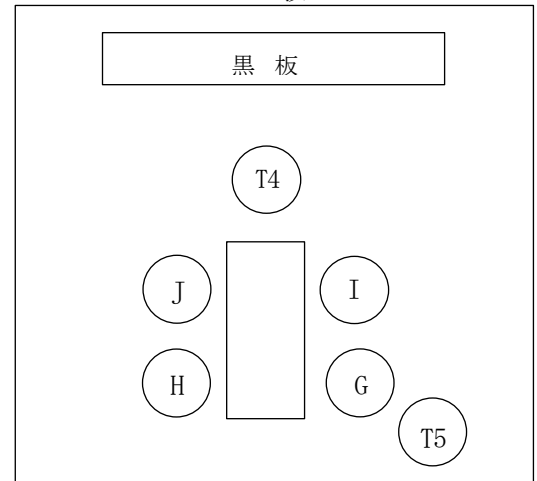


・展開

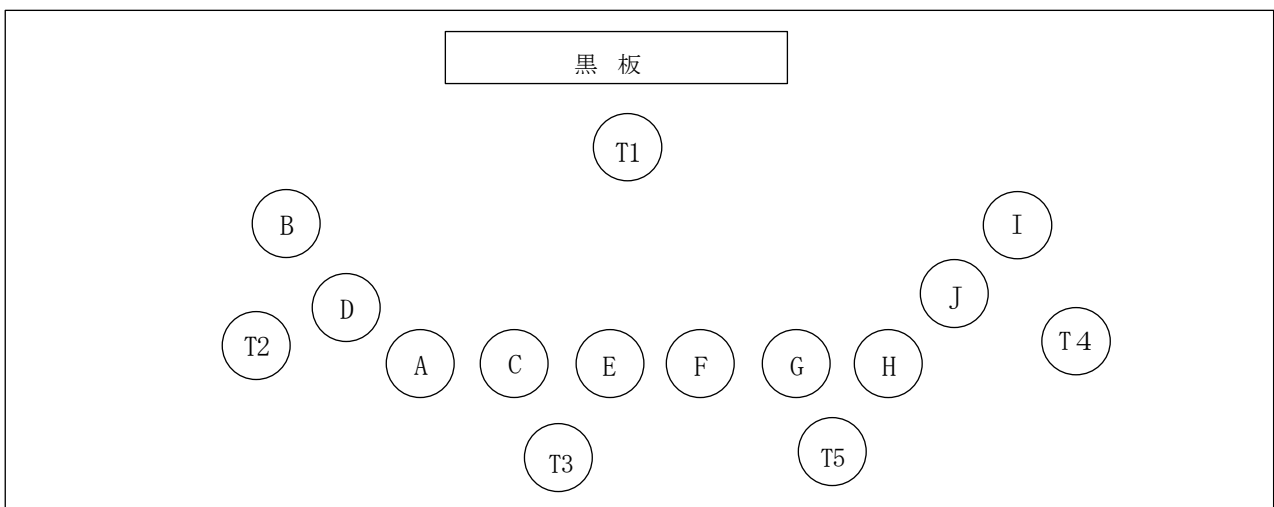
1-1教室



1-2教室



・まとめの会 1-1教室



(5) 教師側の評価

・生徒が自分で気付き、考えて活動するため教材の工夫、場の設定、教師の働き掛けは妥当だったか。

【資料】単元構想シート（実物はA4表裏印刷の状態を活用）

単元構想シート		中学部	1年	記入者（相原 淳）
【単元名】 LET'S GO！中1 ～追分オリジナルマップを作ろう～				
【児童・生徒の実態(学習集団として)】		【単元の目標】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>小学部から3名、地域の小学校から7名が入学し、新たな学習集団としてスタートした。</li> <li>積極的に学習に取り組み、友達と声を掛け合って協力して活動する姿が見られる。一方、活動に見通しがもてず、活動が滞ったり、体調不良を訴え、時間いっぱい活動に取り組めない生徒もいる。</li> <li>集団での生活や人と関わる経験の不足から、自己中心的な発言や態度をとってしまったり、相手の気持ちを受け入れたり自分の気持ちに折り合いをつけたりできず、感情を爆発させ、泣いたりする生徒もいる。</li> <li>小学校のときに不登校傾向だった生徒がおり、中学部での学習に慣れ、毎日登校できるようになった生徒もいるが、未だ、学校生活や学習への不安感から体調不良を訴え、欠席や遅刻をする生徒もいる。</li> </ul>		<p>(1) 自分の役割が分かり、友達と協力して活動に取り組む。【知・技】【学】</p> <p>(2) オリジナルマップづくりを通して、身近な地域（追分）の様子が分かり、地域への関心を広げる。【知・技】、【思・判・表】</p> <p>(3) 友達や教師とのやり取りを通して、自分の気持ちや考えを伝えたり、相手を受け入れたりしながら活動する。【思・判・表】【学】</p>		
		【学習活動】		
		<p>生徒たちにとって新しい学習の場となる天王みどり学園とその周辺の追分地区を知るための「街探検」を活動の軸とし、「計画」、「体験」、「振り返り」を繰り返し学習していく。</p> <p>「計画」：友達と話し合いながら地図を見て行き先を決めたり、そこまでの道のりを考えたりする。</p> <p>「体験」：地図を見ながら、友達と一緒に街探検に出掛ける。街の様子を見て気になったことや場所などをタブレット端末撮影したり、地図にメモしたりする。</p> <p>「振り返り」：街探検を地図や写真を見ながら振り返り、「発見」や「疑問」の視点から意見を出し合う。グループで出し合った意見をまとめ、オリジナルマップに貼る。</p>		
<p>【この単元でつけたい力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割に責任をもち、やり遂げようとする力</li> <li>自分の気持ちを伝えたり相手の気持ちを受け入れたりしながら協力してくれ活動する力</li> <li>様々なことに挑戦（やってみよう！）してみようとする気持ち</li> </ul>		<p>【必要な手だて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割を意識し、見通しをもって取り組めるように「計画」、「体験」、「振り返り」の流れを繰り返し行う。</li> <li>友達と協力して活動できるように、教師は直接的な指示をできるだけ控え、生徒同士をつなぐ言葉掛けやサポート、見守る支援を行う。</li> <li>達成感や自己有用感を感じられるように、教師は生徒の自発的な行動や発言を即時的、且つ肯定的に評価し、他の生徒に共有する。</li> <li>課題意識をもって活動に取り組めるように、地域資源を活用した「体験を通した学び」の場を設定する。</li> <li>生徒の新たな気付きや、視点の広がり、考えの深まりなどに対して教師が称賛したり価値付けしたりすることで、自分の考えに自信をもち、安心して発言できるようにする。</li> <li>友達とのやりとりに自信をもって取り組めるように、生徒同士がやりとりする場面を意図的に設定したり、教師がモデルとなるような話し方を示したりする。</li> <li>生徒が安心して活動できるように、同じペアやグループで繰り返し活動することで、状況や相手に合わせて自分から行動する力が高められようとする。</li> </ul>		

氏名	単元で期待される内面の育ち	内面の育ちに関わるキーワード（実態表より）
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味や関心のあるものを自分から伝える姿</li> <li>体調によって活動を選択し、取り組む</li> </ul>	<p>【教師の（前向きな）言葉掛けや気持ちの聞き取り】</p> <p>【活動量の調整】 【学習活動への見通し】</p>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分がやるべきことに進んで取り組む姿</li> <li>気付いたことや考えたことを進んで発信する姿</li> </ul>	<p>【やるべきことを本人の言葉で話して確認】 【物の管理】</p> <p>【整理整頓】 【達成感の自覚】</p>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して自信をもってできることに取り組む姿</li> <li>慣れた集団（友達や大人）の中で自分から話し掛けたり提案したりする姿</li> </ul>	<p>【見通しがもちやすい活動設定】 【選択肢の提示】</p> <p>【発信方法の広がり】</p>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>やるべき活動が分かり、自分から取り組む姿</li> <li>話し合い活動で気付いたことを伝えたり、考えをまとめたりしたりする姿</li> </ul>	<p>【視覚的に分かりやすい支援】 【繰り返しの活動の定着】</p>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気付きや思いを進んで発信する姿</li> <li>友達の考えを受け入れ、協力して活動をする姿</li> </ul>	<p>【学習全体への見通し】 【思いを聞き取る】</p> <p>【活動量の調整】 【クールダウン】</p>
F	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちや考えを伝えたり、受け入れたりする姿</li> <li>自分の役割が分かり、時間いっぱい活動に取り組む姿</li> </ul>	<p>【活動への見通し】 【教師の言葉掛け】</p>
G	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師や友達の言葉掛けや提案を受け入れて活動する姿</li> <li>見通しをもって落ち着いて学習に参加する姿</li> </ul>	<p>【視覚的情報】 【学習活動への見通し】</p>
H	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分ができない部分を、自分から友達に協力を要請する姿</li> <li>やるべきことが分かり、最後まであきらめずに挑戦する姿</li> </ul>	<p>【即時評価】 【選択肢の提示】 【手本となる物の提示】</p> <p>【活動グループの設定】</p>
I	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなものに手を伸ばしたり、教師の手を引いてお願いしたりする姿</li> <li>手を合わせてお願いしたり、声を出して要求や気持ちを伝えたりする姿</li> </ul>	<p>【即時評価】 【発信を待つ】 【選択肢の提示】</p> <p>【発信方法の広がり】</p>
J	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割の理解と全体の目標を意識し、責任をもって最後までやり遂げる姿</li> <li>他者のアイデアや関わりを受け入れながら活動する姿</li> </ul>	<p>【友達とつながる、自分で達成感のもてる役割の設定】</p> <p>【気持ちの聞き取り】 【生徒をつなぐ支援】</p>